

進んで学習 収入アップ



②⑦ いま考える「学び直し」

人生100年時代を迎え、「学び直し」という意味で、さまざまな用語がマスメディアで取り上げられています。今回はそれらの違いを明らかにするとともに、どの分野に注目していけばいいのかを解説します。

Q 学び直しには、どんな種類があるのでしょうか？

A 主に三つに分けられます。①リスキリング②生涯学習③リカレント教育です。

①のリスキリングは「現在の職業能力や知識を再編成・再教育し、新たな職種や業務に対応するためのスキルを習得すること」を指します。どちらかといえば企業側から従業員に対して行うものと解釈されています。新規事業を立ち上げるために既存の従業員に新たなスキルを習得させることや、他社に負けないように生産性を向上させる取り組みのことです。

②の生涯学習は文化・スポーツ・レクリエーションを含む広い範囲のことで、一般的には余暇的活動を生涯にわたって続けていく意味に使われます。

最後の③リカレント教育が、楽しみながら収入を得るために重要なことです。リカレント(RECURRENT)は、反復や循環と

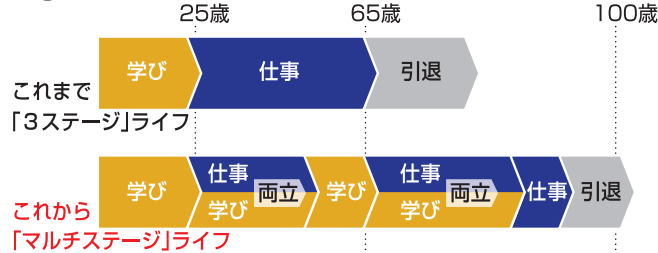
いった意味です。学校を出て就職してからも、働きながら夜間や休日に教育を受けて仕事と学習を交互に繰り返したり、休職・退職して他分野の大学に入り直したりすることを指します。

Q リスキリングとどう違うのでしょうか？

A リスキリングはどちらかといえば企業の都合で「再教育される」という側面があります。リカレント教育は自ら積極的に自分のやりたいことに向かっていく学習のことですね。例えば趣味を仕事にしたい人が会計とマ

富山県金融広報委員会
金融広報アドバイザー
丹羽 誠

人生100年時代での学び直しのイメージ



Q 学び直しにはどんな金銭的なメリットがあるのでしょうか？

A 内閣府の資料によると、主に二つのメリットがあります。一つ目は、自己啓発的に学習した人と学習しなかった人との間で収入に差が出るのです。1年後に約10万円、3年後に約16万円の差があるそうです。さらに、職を求めている人が学習していくと、就職できる確率が10〜14%程度上がるとの分析が出ています。収入が増えるし、再就職・転職にも有利なのです。

Q 楽しく収入を得ていくためには、自ら動くことが重要なのですね。

A そうです。従業員の立場では、どうしても企業側の都合に縛られますし、定年という壁もあります。年金が頼りにならないと言われる時代に、これからどんどん健康寿命が延びる中で働きたいとなれば、自分のやりたい仕事に就くのが一番です。

「75歳まで働くとなると、さまざまな技術・資格・能力を身に付けていけばいいか」と自問自答していけば、第一歩は踏み出せるはずです。生涯のグランドデザインを考えながら仕事に取り組みたいきましょう。(ファイナンシャルプランナー)